 佐久市議会だより

ギカイの窓

2017.02.01 No.47

特集 高校生 × 市議会

トピックス

18人の議員が市政を問う！ 一般質問

佐久市清酒の普及の促進に関する条例制定しました

聞かせて、あなたの夢

議会の主な活動

表紙

冬の小海線

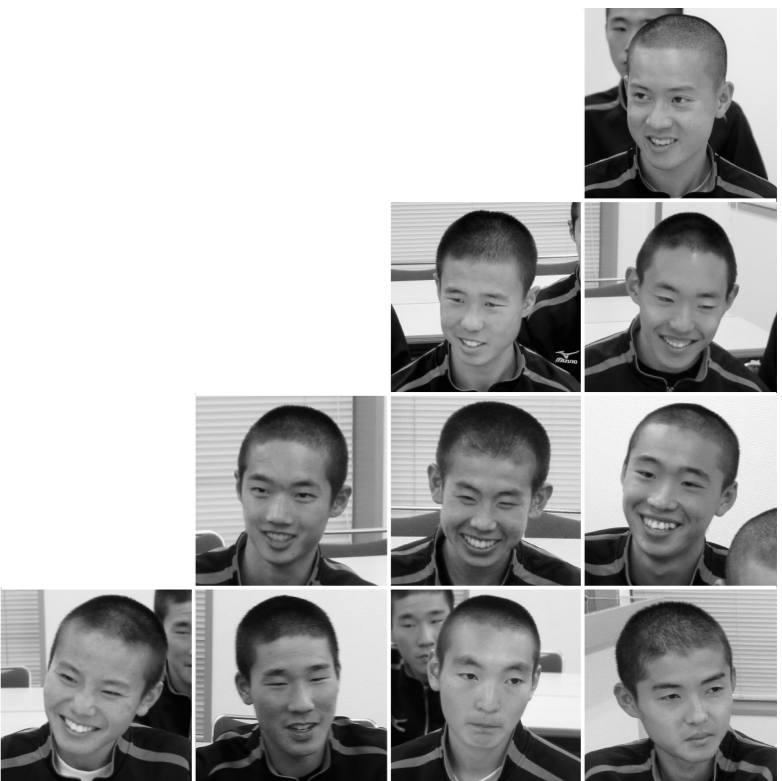
撮影 石田 諒さん

場所 JR小海線 太田部駅～竜岡城駅間



高校生 × 議会 市

市外で育ち、現在、市内で生活している高校生は、佐久市はどのようなに映っているのでしょうか。今回は、駅伝の強豪校、佐久長聖高校駅伝部の皆さんに高校生活を通して、佐久市についてお話を伺うことができました。



正直、議員の皆さんのイメージがわからない。もっと、議員の皆さんのことを知れる機会があれば、イメージが変わってくるのではないかなと感じます。

—佐久市に住んでみての感想は？—
朝練習をしているときに、挨拶をかえしてくれる人が多い。また、「頑張れ」と声をかけてくれる人が多く、駅伝部が期待されていると感じます。
新幹線があったり、大きなお店

があったりして自分が住んでいたところにくらべると便利で住みやすい。ただ、少し市外に行くとなるとなくて……。もう少し何かあれば良いかな。
自分が住んでいたところに比べると佐久は雨の日が少ない。その

分、練習ができるので喜んだり残念だったり。(笑) 継続して練習できるのは自分たちの強みに繋がっていると思います。

—チームを一言でいうと？—
修行僧集団。頭が坊主で高校生

活ではマスクをしているので、他の生徒からちょっと違うと思われると思います。
—彼女はいないの？—
……。 (笑)

—「君の名は。」の映画は見た？—
……。
—将来の夢は？—
私は、将来的に長い距離を走る日本代表になりたい。箱根駅伝は通過点。マラソンで日本代表になりたい。

僕は大学では競技を続けたいが、そのあとは、いい奥さんを見つけて、のんびりした生活を送りたい。

—佐久市にしてみたいことは？—
自分の住んでいたところは、ラニンングコースがあった。お金がかかって大変だと思いますが、佐久にもあれば良いと思います。

—議員のイメージは？—
日本のために動いてくれている人。ただ、政治とか分かりやすく伝えてくれれば、もっと親しみがある存在になると思います。

自分の地区では、お祭りの時に議員さんが来てくれた。そういったことをしてくれれば、堅苦しい、怖いイメージがなくなるのでは。
正直、議員の皆さんのイメージ

がわからない。もっと、議員の皆さんのことを知れる機会があれば、イメージが変わってくるのではないかなと感じます。

※佐久長聖高校駅伝部は、12月25日京都で開催された全国大会で、小林議長と柳田市長が応援に行く中で、見事、準優勝となりました。

—全国高校駅伝を終えての
キャプテンの一言—

この度は多くの方々の応援のおかげで、佐久長聖高校は全国大会で4年連続となる準優勝をすることができました。本番では、選手・サポートが1つになり、私たちが目指した全員駅伝を達成できました。来年は、更なる高みを求めて練習を積み重ねていきたいと思えます。
主将 相馬崇史



平成28年 12月定例会 開会

平成28年12月定例会を11月24日から12月19日までの26日間の会期で開き、条例改正や平成28年度の補正予算など40件を可決し、意見書案3件を採択しました。

常任委員会審査報告

平成28年佐久市議会12月定例会 議案審議結果

議案番号	議事内容・議案名	結果
108	佐久市税条例等の一部を改正する条例の制定について	◎
109	佐久市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	◎
110	佐久市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○
111	佐久市保育所条例の一部を改正する条例の制定について	◎
112	佐久市飲料水供給施設給水条例の一部を改正する条例の制定について	○
113	佐久市民会館条例及び佐久市民公民館条例の一部を改正する条例の制定について	◎
114	佐久市中込立体駐車場条例の制定について	◎
115	小学の区域の変更について	◎
116	第二次佐久市総合計画基本構想の策定について	◎
117	小諸市との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
118	東御市との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
119	小海町との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
120	川上村との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
121	南牧村との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
122	南相木村との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
123	北相木村との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
124	佐久穂町との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
125	軽井沢町との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
126	御代田町との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
127	立科町との間における佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	◎
128	川西保健衛生施設組合規約の変更について	◎

議案番号	議事内容・議案名	結果
129	森泉山財産組合規約の変更について	◎
130	三河田工業団地用地の処分について	◎
131	市道の路線認定について	◎
132	佐久市浅科福祉センターの指定管理者の指定について	◎
133	布施地域コミュニティセンターの指定管理者の指定について	◎
134	平成28年度佐久市一般会計補正予算(第6号)について	◎
135	平成28年度佐久市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	◎
136	平成28年度佐久市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	◎
137	平成28年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計補正予算(第1号)について	◎
138	佐久市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
139	佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○
140	佐久市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	◎
141	平成27年度望月地区新保育所整備事業建築(本体)工事請負契約の変更について	◎
142	平成27年度平賀・内山地区新保育所整備事業建築(本体)工事請負契約の変更について	◎
143	市有地の処分について	◎
144	平成28年度佐久市立岩村小学校屋外プール改築工事請負契約について	◎
145	平成27年度佐久市中込会館立体駐車場等建設工事請負契約の変更について	◎
146	平成28年度佐久市一般会計補正予算(第7号)について	○
147	佐久市清酒の普及の促進に関する条例の制定について	◎
意見書案第8号	「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書	◎
意見書案第9号	国民健康保険制度の充実・強化を求める意見書	◎
意見書案第10号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	○

【結果の表示】 ◎ 全会一致で可決・採択 ○ 賛成多数で可決・採択

平成28年12月定例会 賛否一覽

議案等番号 議案等略名	新政ネット										清和会		公明党		日本共産党		新緑会		無所属		議決結果								
	菊原初男	中津兵衛	中條寿一	市川稔宣	杉岡務	市川正	神津良衛	高橋岳夫	大井功	関本友子	吉川美幸	竹花昭秀	小原勤	柳澤潔	江本信彦	和嶋美和子	内藤勝利	井出節夫	小林松子	内藤祐子		吉岡徹	三石義文	井出浩司	飯島雅則				
議案第110号 佐久市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	原案可決			
議案第112号 佐久市飲料水供給施設給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	原案可決		
議案第139号 佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	原案可決	
議案第146号 平成28年度佐久市一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	原案可決
陳情第8号 国民健康保険税の引き上げを行わないことを求める陳情	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
意見書第10号 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※「○」は賛成 「■」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席 議長(小林貴幸)は採決に加わりません。

12月定例会における請願・陳情等状況一覧は15ページへ

第二次佐久市総合計画基本構想を可決

総務文教委員会 委員長 高橋良衛

この構想は市の将来都市像を明らかにし、長期的なまちづくりの指針で、計画段階から議会も関与してきました。本構想は市民生活に大切な構想であることから、議会基本条例に議決事項として明記されています。

◆こんな質問が出ました

Q 土地利用の実施はスピード感を持って誘導するのか。

◆構想の実施にあたっての意見(一部抜粋)

A 緩やかなスピード感で誘導を考える。自主防災組織の多様な活動が出来るよう研究されたい。

◆(経済・産業分野)

農業について、担い手の確保・育成、農地集積、農産物のブランド化など、積極的な取り組みを進められたい。

◆(共同・交流分野)

常に国際性豊かなまちづくりを念頭に各種事業を検討されたい。



三河田工業団地用地の処分原案可決・同一労働同一賃金 陳情採択

経済建設委員会 委員長 関本功

・東芝電池(株)から取得した三河田工業団地用地の一部約6,010坪を2億4,306万515円で榎山工業(株)へ売却
・「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書の提出を求める陳情について採択

◆こんな質問や意見が出ました

Q 三河田工業団地用地内の一部を地元企業に分割して売却してとの要望に、応募企業がなかった、世話をかけただけで今後どうするのか。

A 商工会議所と工場協会等を通じて、譲渡を推進したが、様々な諸事情で応募がなかった。今回6月30日まで期間を延長して募集する。

◆「同一労働同一賃金」の陳情での意見

・陳情内容に問題はなく、国も実現に向けて動いており、採択すべき、といった意見。
・経営者の立場になると、現実には難しい部分があるのでとの意見。



三河田工業団地用地

佐久市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を可決

社会委員会 委員長 江本信彦

本条例は、佐久市国民健康保険特別会計において、被保険者の高齢化、医療の高度化などによる経費の増加を受けて、被保険者の応分負担により、健全な運営を確保する為、税率の改定や所要の改正を行う条例です。

◆こんな意見が出ました

意見

・申告所得額240万円の親子4人の世帯で税引き後の所得は月11万3,000円しかない。市全体の予算配分として、命にかかわる事業に予算を使うべきとし、反対。

・被保険者の急激な負担とならないよう、一般会計から基準外繰り入れなどを行い財政健全化の取り組みがなされている。安心して医療が受けられる財政基盤の構築が必要であるので、賛成。

◆意見書を提案しました

国保制度への確実な財政支援と更なる拡充及び持続可能な制度の確立を求める意見書を本会議へ提案し、全会一致で採択されました。



18名の議員が市政を問います

一般質問

- 一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また正式な記録は会議録をご覧ください。
- 佐久ケーブルテレビ等やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。



動画配信 QRコード



子どもたちのために教育の充実を 内山産最終処分場は住民意思を尊重し、反対を



内藤 祐子

◆教育の充実を

Q 就学援助について。給食費補助は現行8割支給。対象者は何人で10割支給にはいくらかかるか。

A 準要保護90名。給食費の10割支給は総額で48万円。

Q PTA会費・生徒会費・クラブ活動費を、国の基準単価を上限に支給できないか。

A 取り扱い困難でできない。入学準備金を入学前支給にできないか。(現行6月支給)

QA 実施自治体を参考に検討。近隣で佐久市だけの「臨時職員6年雇止め」をやめるべき。

QA 佐久市でスキルアップして近隣に貢献している。

A 近隣に貢献ならそれもよい事。雇用の機会均等には必要。

Q 小中学校事務職員のパート化(現行正規3名、嘱託3名、パート1名)はやめるべき。一般財源とは言え、1億7千800万円

もの交付税措置があるのに。基準からすれば、佐久平浅間小は正規配置すべき。

A 市職員のスリム化と合わせての事。佐久平浅間小は、校長と話し、進めていく。

◆内山産廃には反対を

Q 国内最大級のアスベストを含む『安定型』ということで遮水シートも無く、汚染が心配。内山地区の91・2%が反対。市の対応は。

A 地元の不安の払拭も無く、合意形成無しで進めてはならない。



小林 松子

福祉医療費の窓口無料化・高齢者タクシー補助・オスプレイの飛行訓練計画

Q 佐久市議会は、本年6月議会で、長野県知事等へ、福祉医療費の窓口無料化の実施を要望する意見書を提出した。これを踏まえ、市としても要望書を国・県へ提出できないか。

A 佐久市議会が要望書を提出されたことは、重く受け止める。年末までに方向性が示される国の結果を受け、県と市町村の協議の内容を踏まえた上で、市としても検討していく。

Q 高齢者タクシー補助制度の創設について、どのように検討してきたか。

A 持続可能な高齢者支援を実施するため、外出支援も含め、どのような支援を望まれているか調査をする予定。

Q 米軍オスプレイの飛行訓練に関する要請を国に対し、長野県と県市長会、県町村会の3者が連名で要請しているが、その内容については。

Q 市のオスプレイに対する今後の対策は。

A 市民の安全安心の確保のため、引き続き国に対応を求める。

Q 動画による有形文化財の活用とPRについて。

A 文化財観覧者の増加対策として和装などによる写真撮影会を開催し、その中で文化財をPRする為、庁内関係各課と民間との横断的連携を図り、国重要文化財他史跡の中を散策する女性のモデルを撮影した魅力的動画を作成。PRの為にそれらの映像や写真を動画サイト「ユーチューブ」に配信したり、都内を含め県内外の30カ所以上にフリーペーパーを配置し、情報発信をしている。発表から一ヶ月半1,000件を超えるアクセスがあった。

Q 高齢者等向け訪問理美容サービス事業について。

A 当事業は、寝たきりやその他の身体の不自由により、理美容店に行くことが困難な在宅の高齢者や障害者の方々が自宅で理美容サービスが受けられるよう支



佐久市動画チャンネルで公開中

◆その他の質問項目

・ジャパンブランド「健康長寿」推進事業、他2項目



新工業団地整備をどう進めるのか 農振農用地の指定について



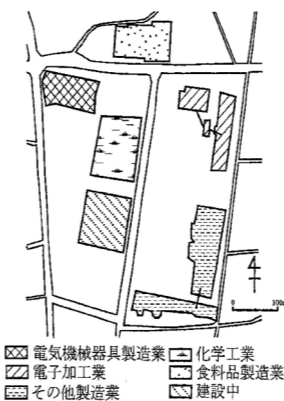
みついし よしふみ
三石 義文

Q 現工業団地造成の経緯や立地企業業種など今後の整備に参考になると思うが、新工業団地はどんな基準でどの様な方針で進めていくのか。また、規模はどの程度を考え、何を重視して場所の選定をしていくのか。

A 現在3ヶ所を検討している。長土呂工業団地周辺、岸野工業団地周辺そして仮称白田インタ―チェンジ周辺。規模は住民、企業が求める立地条件を考えながら慎重に決定する。場所については企業が多くの候補地の中から選択してもらえないような価格にしなければならぬ。土地、造成費などが安価になることも重要。

Q 人口の減少など心配される中、企業進出は地域の活性化につながります。過疎化が進む地域の活性化という視点から、3ヶ所に限らず工業団地候補地を検討していく考えは。

人口の減少など心配される中、企業進出は地域の活性化につながります。過疎化が進む地域の活性化という視点から、3ヶ所に限らず工業団地候補地を検討していく考えは。



離山南工業団地
電気機械器具製造業 化学工業
電子加工業 食品製造業
その他製造業 建設中

A 当面は3ヶ所を中心に検討を進めていくが、様々な条件等考慮する中で他に適地が考えられる場合はそれらを含め慎重に検討していく。

Q 中山間部などの荒廃化しているところも農振農用地として指定されたままだが、適正といえるのか。

A 社会環境、営農環境の変化に伴い将来を見据えた指定の検討が必要。

◆その他の質問項目
佐久総合運動公園について

業者の提出書類と現場代理人制度について・保健補導員さんの役割等



いちかわ としのぶ
市川 稔宣

Q 市役所を訪れた皆様のために、案内コンシェルジュ「あらゆる要望を承るサービス」の設置ができないか。

A 分かりやすい案内板を設置し、気軽にお声掛けいただける環境整備を整えてまいります。

Q 大量の提出書類を求められ困惑している業者が多いと感じているが、簡素化できないか。

A 市が発注する公共工事の契約の相手方としてふさわしいか、審査する必要な書類です。長野県のしゅん工書類の簡素化基準に合わせ、業界との研究や協議を始めたところです。

Q 現場代理人の兼務について、業者によっては代理人の不足により入札参加ができない状況もあるが、兼務を認めることできないか。

A 建設業界からの要望もあり、工事の品質確保や安全管理面、受注機会の平等性などについて



市役所市民課窓口

◆今後の検討してまいります。

Q 保健補導員さんの活動は、佐久市の大きな特徴で、地域の健康活動の担い手である皆様に医療の面・食の面での指導の徹底をお願いしたいが。

A 健康長寿都市となる過程で大きな役割を果たされている「地域の健康活動の担い手」として、区長さん方にも働きかけ、補導員さんの活躍の場を増やして市民の健康意識向上に寄与して「やってよかった」などの活動を引き継いで頂けるようサポートしてまいります。

市民協議会開催の検討・中学校に通級指導教室の設置を・耕作放棄地対策



えもと のぶひこ
江本 信彦

◆市民協議会の開催について

Q 市民協議会は中立的独立機関が主催し、無作為抽出された市民が、有償で一定期間（1日、2日）小グループにより討議する市民参加の手法である。「静かなる多数派」の声なき声を拾う方法である。推進してはどうか。

A 市民協議会は、実施機関の討議運営の質が担保されないと、議論が偏り、中立公平な意見集約ができない等の課題がある。市民との協働のまちづくりを推進しつつ、意見を聞く手法について工夫をする等、検討してまいります。

◆通級指導教室について

Q 中学校の通常学級に在籍する発達障がいを抱える生徒は、複雑な人間関係や高校進学などの問題について、きめ細かな支援が必要である。通級指導教室の設置を県に強く働きかける事、



◆その他の質問項目
耕作放棄地対策について

◆市民協議会の開催について

Q 市民協議会は中立的独立機関が主催し、無作為抽出された市民が、有償で一定期間（1日、2日）小グループにより討議する市民参加の手法である。「静かなる多数派」の声なき声を拾う方法である。推進してはどうか。

A 市民協議会は、実施機関の討議運営の質が担保されないと、議論が偏り、中立公平な意見集約ができない等の課題がある。市民との協働のまちづくりを推進しつつ、意見を聞く手法について工夫をする等、検討してまいります。

◆通級指導教室について

Q 中学校の通常学級に在籍する発達障がいを抱える生徒は、複雑な人間関係や高校進学などの問題について、きめ細かな支援が必要である。通級指導教室の設置を県に強く働きかける事、

ひとり親には平等な対応を！ 里親制度・男女共同参画について



よしかわ ともこ
吉川 友子

◆寡婦控除のみなし適用

Q 佐久市における未婚ひとり親件数は、未婚では寡婦控除が受けられず、保育料など、さまざまな影響があるので、寡婦控除のみなし適用はできないか。県下では2市が実施している。

A 96件、国や他市の状況を見ながら、適切に判断していきたい。

◆里親制度について

Q 佐久市の虐待の相談件数と里親の登録数、委託児童数は、相談件数は20件で増加傾向にある。里親登録数は1件で、委託児童は4人。

A 市による周知も不可欠であるが、せめて里親制度についてHPに載せてほしい。

Q 県のリンクを貼るなど、さっそくHPに載せていくよう検討したい。

◆市職員の男女共同参画

Q 「働きやすい職場」と言うが、超過勤務などの状況は。

佐久市の職員構成

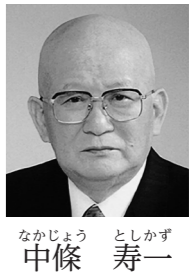
	男性	女性	合計
正規職員	544人(46.3%)	632人(53.7%)	1176人
非正規職員	126(15.1%)	710(84.9%)	836人
正規の保育士	9(8.1%)	102(91.9%)	111人
非正規の保育士	2(1.2%)	160(98.8%)	162人
正規の一般事務職員	344(69.6%)	150(30.4%)	494人
非正規の一般事務職員	25(17.6%)	117(82.4%)	142人

A 有給休暇取得日数は5.5日、超過勤務が年間360時間以上は84人、男性の育児休業取得はゼロ。

Q 正規一般事務職員の平均年収は60万円、非正規雇用は170万円、女性の非正規雇用が多い。低賃金の非正規女性を増やすことは女性活躍とは逆ではないか。

A 女性に対する隠れ差別があることについては注意深く見つけ、社会全体が心がけていかなばと思う。

地域の魅力を生かした観光振興 ひとり暮らしの高齢者対策について



なかじょう しかず
中條 寿一

◆観光振興の今後の課題

Q 国では酒蔵での訪問外国人旅行者に対して免税店を検討しているが今後の課題は。

A 市では、佐久地域の魅力の一つである酒蔵における日本酒の購入が促進され、観光振興につながるかと考えている。

Q 佐久地域の十三蔵の「SAKU U十三」が軽井沢G7交通大臣会合のレセプションでふるまわれた。今後、外国人旅行者への情報提供の拡充など課題解決に向けた取り組みを行う。

A ひとり暮らしの高齢者対策の現状と課題について。

Q 佐久市の世帯数は4万649世帯で65歳以上5千511世帯で13・6%、高齢者のひとり暮らし世帯は3千777世帯で9.3%と、10世帯に1世帯が「ひとり暮らし高齢者」である。

A 「生きがいの低下」「消費者被害」「孤独死」このような社会的孤立を防ぐため、高齢者の「見守り」や「居場所づくり」が求められている。

「生活支援・介護予防サービスの体制整備」NPO、社会福祉法人、社会福祉協議会など多様なサービスの提供体制を把握し、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進している。

◆その他の質問項目

- ・市職員の人材育成について
- ・三河田工業団地について



健康づくりのための運動の実践

クラウドファンディングによる まちづくりについて



うちたに かつとし
内藤 勝利

Q インターネットを介して個人や企業から資金を募る「クラウドファンディング」を取り入れた事例が自治体でも増えているが、現在計画している事業やまちづくりでこの手法を導入できそうな事業はあるか何う。

A 定住促進では「サテライトオフィス設置支援事業」、市街地活性化では「樋橋地区のまちづくり」、観光交流促進では「市の観光施設整備」、子育て支援では、「こども未来館の改修」などが考えられる。

Q 「樋橋地区のまちづくり」など幾つかの事業でクラウドファンディングの活用をするか。

A 事業そのものが魅力的で多くの方が支援をしたいと思えることが重要。人口減少による財源の縮小や社会保障費の増大など地方公共団体の財政は厳しくなる中、行政がクラウドファンディングを活用して資金調達する



クラウドファンディング

ことは財政的な面だけでなく、地域のファンづくりにも有効と考える。

NPO法人など民間の事業者が行うまちづくりにも、単に補助金等の財政支援といった手法から、クラウドファンディングの活用を促すための人的・情報支援、最低限の財政支援など新たな支援の形を見出すことは大変重要と考える。

活用する事業の研究や磨き上げ、行政の新たな支援の形など検討すべき課題もあるが新たな資金調達の手法として検討したい。

国民健康保険税の再増税の中止を 税金はくらしや福祉・教育の充実に



いぬえ せつお
井出 節夫

Q 国保会計の基金残高は27年度末で4億円余です。28年度の基金への積立額は1千8百万円余です。28年度末は4億2千万円余になるが良いか。

A 4億程積立はある。

Q 市民説明会の資料では、29年度の試算は4千万円余の赤字になっているが、積立金が約7千万円ある。積立をして赤字という試算はおかしい。これを相殺すれば、収支は黒字になり約3千万円の基金を積み立てることができると。そうすると、29年度末の基金残高は4億5千万円余となる。従って増税の必要はない。また、市の推計では30年度の赤字は、約1億8千万円となっている。この赤字分と借入返済1千900万円を加えても基金の取崩しは約2億円である。

A 30年度は約2億5千万円の基金が残ることになり増税する必要はないが。

Q 希望をかなえ、選ばれる街づくりをめざす。



A 財政健全化計画でいくとそういうこともある。

Q 30年度は制度改正（国保の全県一本化）があるのでその時点で税率は見直せば良いのではな

A 国保税は現状を踏まえた上で、変化のないように運営をして行くことになっている。5ヶ年の中で収支を均衡させるため増税が必要だ。

Q 税金の使い方を大型事業優先から暮らしや福祉・教育の充実に。

A 税金の使い方を大型事業優先から暮らしや福祉・教育の充実に。

小学校3年生から新たな英語教育開始 デマンドタクシー 佐久市全域に拡充!!



たけはな ゆき
竹花 美幸

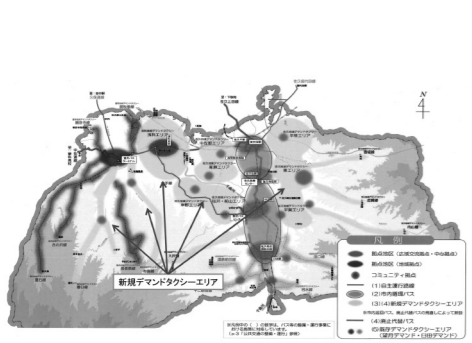
◆英語教育早期に体制づくりを

Q 平成32年から小学校5・6年生が英語の教科化へ、3・4年生では外国語活動の導入が予定されている。子ども達の未来を考え、佐久市は先行実施するべきと考えるがいかがか。

A 特に小学校3・4学年の外国語活動の先行実施や授業時間の取り方、また、望ましい指導体制等について方向付けしている。5・6学年での教科化については、慎重に判断していく。

Q 今後は教員の指導力の向上やALTの増員、ALTの生活サポートや教育現場が能力を発揮するためには、コーディネーターの確保等が課題となる。どう対処していくのか。

A 英語の指導力強化、専門性の高い非常勤講師の派遣、免許法認定講習プログラムにより指導体制整備に努めていく。



佐久市公共交通体系の再編 (案)

◆デマンドタクシー更に便利に

Q デマンドタクシーの佐久市全域への拡大・拡充についてはどのようにお考えか。

A 交通体系の見直しとして、市内巡回バスと廃止代替バスの一部路線について、デマンドタクシーの導入を考えている。

保育士不足改善のため、保育に携わる
臨時職員の待遇を大幅に改善すべし！



飯島 まさき

全国的に保育士不足であり、佐久市も例外ではない。現状では正規職員保育士を採用せず、臨時職員保育士に頼っている。保育の仕事は「きつい」「汚い」「危険」。3K状態と言われており、しかも、子ども達の命を預かる仕事にもかかわらず低い賃金。これが最大の原因である。「子どもたちが好き。できるなら、ずっと保育士を続けたい。」こんな思いを持った方が保育士を続けられるように、また、未来の子ども達のために、大幅な賃金値上げを強く提言するが、所見を。

成を提言する。所見を。それぞれの職場で業務手順の明確化を図る。適切な文書管理について周知を図る。

中南信の企業、団体等の佐久平駅・新幹線利用を図るため、駐車場利用に補助を出す事業があるが、実績が出ていない。佐久平駅から定期で新幹線を利用する市民にこそ、補助を出す事を提言するが、所見を。

他の駅や路線バスを使う方もいるので、公平性を欠く事からできない。

私立の保育園や近隣市町村とのバランスから、賃上げはできない。

ISO9001はシステム管理により、お客様に満足してもらうことを目指すものであるが、その中で「業務手順マニュアル」と「文書管理台帳」の再作



子どもたちが、大好き！

猫の愛護・保護活動について
地域公共交通網形成計画について



小金沢 昭秀

野良猫を増やさないため、平成24年度から猫の繁殖制限手術費補助事業を実施し、一定の成果が出ているので、今後も継続すべきと思うが、市の考えは。

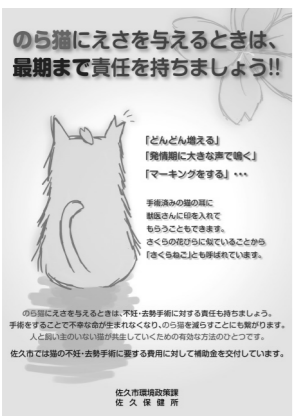
千曲バスの自主運行路線については、幹線路線なので、関係自治体と連携して維持に努める。佐久平・岩村田地区から中込・野沢、白田地区にかけて南北に結ぶ基幹交通軸を構築するため、毎日運行を基本に拠点地区間をループ状に結ぶ市内循環バスを新設する。また利用者が極端に少ない便が多い市内循環バス路線全便に加え、廃止代替バスの一部路線の昼間便に限り、デマンドタクシーに切替える。

不妊・去勢手術の必要性が理解され、補助金の交付件数は年々増加している。ニーズは、依然高いものと認識している。事業の継続性も重要なので、引き続き、取組んでいく。

地域猫活動を行うため、ボランティア団体との連携が必要と考えるが、今後の連携について伺いたい。

野良猫などを、単に不要なものとして排除するのではなく、地域猫として、問題を解決していくような、ボランティア団体の皆さんや、保健所などの関係機関の協力をいただきながら、支援していきたい。

地域公共交通網形成計画における交通体系の具体的な再編案



地域猫ポスター

農業を基幹産業として成長させる為に



井出 こうじ

農業施策を重点的に実行する為に経済部の農政部門を独立し農政部をつくれなにか。

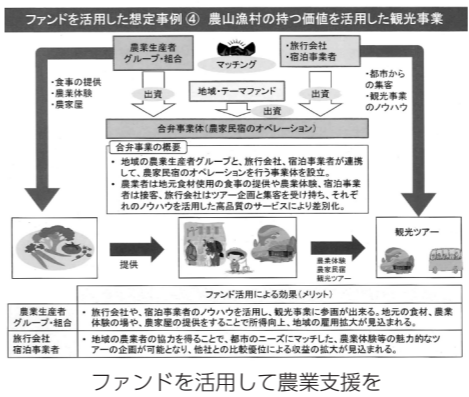
現時点では考えていない。しかし、「農政部構想」も一つのアイデアと考えている。

一般会計に占める農業関係費の事業の額の推移と、そのうち一般財源の割合の推移は？

平成27年度決算における農政関係事業費に着目すると約6億円、一般財源の占める割合は5年間ほぼ横ばいで推移している。

市内農業の6次産業化の可能性と具体的支援方法は。

地域資源の有効活用を図り、地域の活性化に結び付けるために経営的視点に立った持続可能なビジネスモデルを確立することが大きな課題である。国や県が行っている補助制度やアドバイザー派遣等の支援制度の橋渡しを行いたい。



ファンドを活用して農業支援を

民生児童委員活動の現状と課題について



吉岡 よしお

今期新体制の概要について計230人で新体制になった。新任が147名、再任が83名、平均年齢は66歳、男女比は4対6で女性が多い。委員一人当たり平均で、受け持ち世帯数188世帯、高齢者数133人、要配慮者数81人になっている。

委員の主要な任務である高齢者等の生活実態を把握する「実態調査」および災害時の要配慮者支援のための「支え合いマップ」の作成状況について

実態調査はすべての地区で実施されている。調査票は同意を得られた方については消防署でも閲覧でき、火災等の緊急時に役立てるようになっていく。支え合いマップもほとんどの地区で作成されている。

委員に給与は支給されないが年間活動日数と費用弁償は。委員は一年間に平均125日間活動されており、その費用実費相

農業支援にかけられる予算が少ない中で、6次産業の事業化を目指す農業者への支援として、資金調達の手法として国の機関である農林漁業成長産業化支援機構が出資する「信州アグリノベーションファンド」等の産業化ファンドの活用が有効と考えるが市が主体となって活用できないか。

農業者等から具体的な要望をいただいていない、ファンドの活用を検討するには時期尚早であると考えている。

課題として①区および他の地域組織との連携の強化による委員活動の実効性のアップ②委員の任務の負担軽減を図ること、

①は委員のご苦労の実効を上げるために極めて重要であり、今後とも連携強化を推進していく。②についてはその必要性は認識しており、これまでも提出書類の簡素化等取り組んできたが今後とも努めていく。



第二次総合計画の将来像・武力攻撃による国民保護・国保税率改定について



Q 第二次総合計画の策定に当たり、市が目指す将来像の考えは。

A 佐久市に住む全ての「ひと」が「暮らしやすい」、「暮らしが良かった」と思えるまち、心身ともに健やかに暮らせるまちを10年間の目指す姿としたい。また、計画の着実な推進により、現在の世代だけでなく、将来の世代も「暮らしやすさ」、「住みやすさ」、「働きやすさ」、そして「幸せ」が実感できるとともに、持続的に発展するまちづくりを総合的かつ計画的に進める。

Q 国民保護計画のこれまでの状況と今後の取り組みはどうか。

A 平成19年の国民保護計画策定後、武力攻撃事態の事例は発生していないが、万が一に備え、国や県と連携した訓練を行っている。今後も様々な事例に的確に対処しながら万全を期する。平成29年度からの国民健康保険の税率改定の考え方は。

A 国保財政健全化計画により将来へ負担を先送りすることなく、「基準外繰入を含めた収支の均衡を図る」等により今回の改定は「一人当たりの税額で11・1%、一世帯当たりの税額で9%増」の税率改定が必要。

Q 財源不足を解消するためには、歳出の縮減対策が最重要課題と考えるがどうか。

A 「糖尿病性腎症等の重症化予防の強化」、「早期発見・早期治療の促進強化」、「生活習慣病の改善の強化」等に取り組む。



集団検診をしている様子

電力の地産地消について 市内の新たな工業団地について

◆電力自由化の中で電力に地産地消について

Q 市で契約している売電、購入電力を統一するなどして電力の地産地消に結び付けることが出来るか。

A 電力の売電先と買電先を統一にすることによる広い意味での電力の地産地消といった考え方もある。平成30年4月以降につきましましては、売電契約も終了することから電力の地産地消という点も考慮しつつより合理的で生産性の高い手法を検討する。

◆市内の新たな工業団地について

Q 市内の新たな工業団地の候補地と選定要件について

A 長土呂工業団地周辺、岸野工業団地周辺、そして(仮称)白田インター周辺を候補地として考えている。選定の理由としては、高速道路インターチェンジに近い、既存工業団地の周辺でもありまとまった土地の確保が



たかはし よしえ
高橋 よしえ

可能なこと。

Q 候補地絞り込みにあたった要件について。

A 進出企業が重点としている項目として土地単価がある。用地買収価格が分譲価格に大きく影響することから、用地の買収価格が大切な要件となる。

◆その他の質問項目

・新幹線佐久平駅の観光客による利用者増加策について



土木工事における随意契約の上限金額見直しを!



おおい たけお
大井 たけお

Q 佐久市における土木工事で50万円未満の工事は、競争入札でなく、地元業者の輪番制による随意契約となっているが、50万円としている根拠を問う。

A 他市の状況を踏まえ、入札による競争性の確保や、速やかな工事発注を考慮し、上限金額を50万円未満としている。

Q 長野県では随意契約の上限を200万円としているが、佐久市でも同様の金額とした場合、どのような効果が期待できるか。

A 請負業者の収益面や、入札手続き等の省略による速やかな工事の着手、発注関係事務の負担軽減などの効果が考えられる一方、落札率の上昇に伴う財政支出の増加や、競争性の確保が危惧される。

Q 仮に上限額を100万円とすると、50万円の工事を2回に分けて行うより全体の工期が短くなり、事務コスト削減等により2倍以上

A 輪番制による発注について検証を行うとともに、県や県内他市の状況を調査、研究していきたい。入札制度に完成形は無いので、より良い制度となるよう取り組みたい。



平成28年佐久市議会第4回定例会 請願・陳情等状況一覧

番号	請願・陳情者	請願・陳情要旨	結果
平成28年陳情第8号	日本労働組合総連合会長野県連合会 会長 中山 千弘 外1団体	奨学金制度に関する陳情	取下議決
平成28年陳情第10号	りんどう会 会長 村上 裕史	「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書の提出を求める陳情	採 択
平成28年陳情第12号	日本労働組合総連合会長野県連合会 会長 中山 千弘 外1団体	奨学金制度に関する陳情	採 択
平成28年陳情第13号	佐久市瀬戸1177-10 佐久市の国保をよくする会 代表 工藤 克征 外1,073名	国民健康保険税の引き上げを行わないことを求める陳情	不 採 択

中部横断自動車道早期建設へ



12月16日、中部横断自動車道の早期建設に向けて、佐久地域選出の全県議6人と11市町村の議員約150人が議員連盟を設立しました。この設立総会で、長野、山梨、静岡3県の早期全線開通を目指し、来年、国に要望書を提出することを確認しました。



議会だよりの表紙写真を募集中です。詳細はホームページをご覧ください。

佐久市議会

検索

熊本県熊本市・人吉市の地震被害及び復興状況 鹿児島県霧島市・議会改革の取り組み

議会運営委員会

熊本市の被害状況を視察しました。建物を解体中の現場も多く、地震の大きさと恐ろしさを実感しました。熊本市議会を訪問し、ライフライン等の被害状況、被災者支援、各種義援金等の受け入れ状況などを伺いました。

次に、熊本県人吉市に訪問し被害状況を伺いました。人吉市では地震の被害は少なかったが、市庁舎のI S値（構造耐震指標）の低さを確認し、倒壊の危険性を指摘されたことから、庁舎の移転等についてお話を伺いました。

鹿児島県霧島市では議会改革、議会運営の取り組み等について説明を受けました。

市民に理解される議会のため、議会報告会、政策討論会、自由討議、反問権を中心とした「霧島市議会基本条例」平成21年10月制定。また平成24年に「会期中又は閉会中にも関わらず、市長等に対し文書質問ができる」という規定に



熊本地震の被害の様子

ついては、議会運営委員会と執行部との協議結果、「現行の資料要求と同様、一定のルールを持って取り扱う」とし、「市としての意思」を問うもの以外はこれまで通り「資料要求」で対応する」などの説明を受けました。

◆八戸ポータルミュージアム「はっち」
全国的に中心市街地の空洞化や商業機能の低下が懸念される中において、八戸市中心市街地地域観光交流施設として整備を始めたもので、平成23年2月に開業した。開業1周年目に来館者8万8千888人達成。平成25年5月に来館者200万人、平成26年5月に300万人、平成27年6月に400万人と、年間約100万人の来館者がある。

◆オガールプロジェクト
岩手県紫波町は、JR紫波中央駅前に10年間塩漬けとなっていた町有地10・7haを中心とした都市整備を図るため、PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）手法を採用し都市整備事業を行った。
施設の建設は、建物を作ってからテナントを募集するという従来方式ではなく、家賃相場、必要床面積、見込収入を計算し、建築・



オガールプラザ

維持費を出していくという、逆算方式によるもので、着工時入居率は100%であった。
◆「鯉に恋する郡山プロジェクト」
鯉養殖生産量全国1位の郡山市は東日本大震災による震災・風評被害で生産が落ち込んだ。平成27年4月に「鯉係」を新設し、鯉養殖漁業協同組合と協力して立ち上げたのが鯉6次産業化プロジェクトである。鯉食を根付かせようと色々な創作料理に取り組んでおり、鯉食文化の発展に向けて参考となるものであった。

青森県八戸市ポータルミュージアム「はっち」・岩手県紫波町オガールプロジェクト・福島県郡山市「鯉に恋する郡山プロジェクト」

経済建設委員会

地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の現状について 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりについて

高速交通網特別委員会

2日間の日程の1日目は大町建設事務所にて松本市から糸魚川市に至る延長約100kmの地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の進捗状況を聞いてきました。この道路は広域的な交流・連携が期待され、長野県としても計画案を作成し建設促進に向けて積極的に取り組んでいます。

しかし、現在のところ地域によって反対の声もあるなど、想像していた以上に地域ごとの温度差があることがわかりました。

当特別委員会としても「松本佐久高規格道路」の建設を推進していることから、道路建設には地元住民の理解と熱意が必要で、事前の十分な意見聴取が課題であることを実感しました。

2日目は富山市役所で「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」について視察しました。

富山市は鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線



「松本糸魚川連絡道路」高瀬川右岸の現道活用区間を走行

に都市の諸機能を集約させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のまちづくりを実現させています。その柱となるのは①公共交通の活性化②公共交通沿線地区への居住推進③中心市街地の活性化です。また、コンパクトなまちづくりの進め方として①規制強化でなく誘導的手法②まちなか居住か郊外居住かを市民が選択③公共交通の活性化によるコンパクト化④地域拠点の整備といった手法で市民の利便性を最優先し成功していました。

3月9日 議場コンサート

市では、毎年「3月9日」を「佐久市民の日」とし、市と市民が一体となって佐久市の魅力を発見し、愛着と誇りを抱き、更なる発展を期するため、各種の記念事業を実施しています。

佐久市議会では、これにあわせて、議会をより身近に感じていただくため、昨年、大好評だった議場コンサートを開催します。皆さん、ご都合をつけてお越しください。

日時 **3月9日(木)** 午後2時～

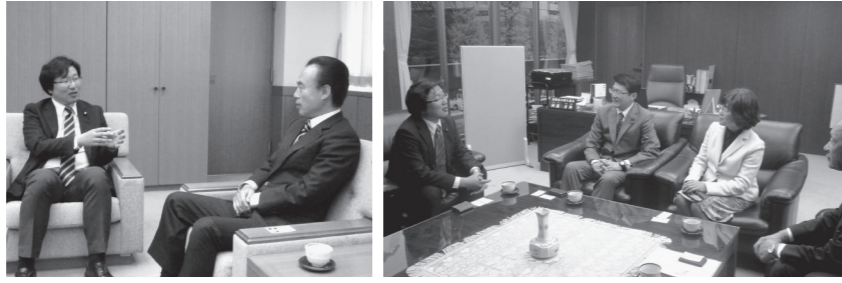
場所 **佐久市議会議場**

内容 **未定（現在、フルート・ヴァイオリン・オカリナ等を検討中）**

議場コンサートは入場無料で、事前申込みも不要です。
ぜひ、お気軽にお越しください。

議長が友好都市や交流都市などを表敬訪問しました

小林議長が、去る11月2日に朝霞市の野本議長と福岡市長を、また12月1日には相模原市の阿部議長・大沢副議長と小星副市長を、そして12月2日には和光市の齊藤議長、松本市市長をそれぞれ表敬訪問し、意見交換を行いました。



多くの市民の方が議場見学しています



今年度は市内10校、約520人の小学3年生が社会見学の 일환として議場見学を行い、市議会の役割について小林議長が説明しました。また12月5日には、望月地区の女性団体17名が議場見学をし、小林議長の説明を受けた後、本会議を傍聴されました。

あなたも議会を傍聴してみませんか

★次の定例会（平成29年3月定例会）の日程（予定）は右欄のとおりです。

★委員会審査も傍聴いただけます。本会議同様、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会も傍聴いただけます。ただし、委員会会場の都合上、希望者多数の場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承ください。

※ご注意ください
本会議、委員会とも傍聴の際は、携帯電話の電源をお切りください。また、会議の様を撮影、録音することはできません。

問い合わせ先 佐久市議会事務局
電話 0267-62-3495 (直通)

次回定例会のお知らせ

【平成29年3月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20 本会議 (開会)	21	22	23	24	25
26	27	28	3/1	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問)	4
5	6 本会議 (一般質問)	7	8 本会議 (議案質疑)	9	10 委員会	11
12	13 委員会	14 委員会	15	16	17 本会議 (閉会)	18
19	20	21	22	23	24	25

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

編集後記

総合人材サービス会社が2015年に全国の小中学生1000人に行った「将来就きたい仕事」の調査では、男子のベスト3は上位から会社員・サッカー選手・公務員で、女子では上位からパティシエ・先生（大学・幼稚園等）・会社員という結果であった。

経済のグローバル化により日本でも格差社会が進行している。家庭の経済力の差が子供の教育環境に反映される「教育格差」もその一つである。こうした現状を受け、国においても貧困などの経済的理由で進学を断念することが無いように、給付型奨学金が創設されるようである。

たいへん喜ばしい事である。議会だよりの小記事欄「聞かせて、あなたの夢」の取材で同僚議員らと浅科小学校に伺うと、そこには将来の夢をはにかむように話す少女。話しを聞くうちに元気をもらった。日本の少女達の未来が幸多き日々である事を祈る。

議員提案による

佐久市清酒の普及の促進に関する条例を制定しました

条例の趣旨・目的

佐久市は、浅間山、八ヶ岳、蓼科山、荒船山などの雄大な山並みがもたらす豊かな湧水と千曲の清流が育む良質の米に恵まれ、古くから多くの酒蔵を擁し、「酒の郷」と謳われてきました。

また、これらの酒蔵で製造される、我が国の「國酒」でもある清酒は、長い歴史の中で、佐久ならではの食文化の創造と酒造業を始め、飲食業や農業などの関連する産業の発展に寄与してきました。

本条例は、こうした歴史を踏まえ、清酒による乾杯の推進その他の取組により清酒の普及を促進し、地域の食文化を継承するとともに、市内の清酒に関連する産業の振興を図ることを目指して、制定したものです。

佐久市議会の動き

佐久市議会では、全議員が賛同して、平成26年4月より佐久の清酒の普及促進等を目指した議員連盟を設立し、佐久酒造協会の蔵元の皆さんとの意見交換や、研修会を行うなどの活動をしてきました。

今後も「乾杯は佐久の地酒で」を合言葉に、なお一層の活動を進めていきます。



佐久(SAKU)の米



～米づくりから酒づくりまで～
信州佐久13蔵で醸す酒



佐久の蔵



SAKE(SAKU)で乾杯

ギカイの窓

2017.02.01 No.47

特集 高校生 × 市議会

トピックス

18人の議員が市政を問う！ 一般質問

佐久市清酒の普及の促進に関する条例制定しました

聞かせて、あなたの夢

議会の主な活動

表紙

冬の小海線

撮影 石田 諒さん

場所 JR小海線 太田部駅～竜岡城駅間



聞かせて、あなたの夢

佐久市の小学6年生が夢を語ります 佐久っ子の夢、応援します！



佐藤 文香さん
(浅科小学校6年生)

わたしの将来の夢は、アニメクリエイターか、獣医になることです。アニメクリエイターはギャングのアニメが好きで作ってみたかったから。獣医は動物が好きで、ケガをしたときに、注射をして病気になる動物を助けたいから。

夢をかなえるために算数を頑張っています。社会も好きです。今は、バドミントンのクラブに入って体を鍛えています。家では、ゲームをして遊んでいるけど、たまにやり過ぎてお母さんに怒られます。(笑)

地元の祭りや花火が楽しみで、特に祭りの時のクジが好きです。だけど、当たったことはあまりない…。でも、来年、当たります。(大笑)

議会の主な活動

このコーナーでは、議会が本会議以外でおこなっている主な活動を、写真で報告しています。

サク市交流研修生が表敬訪問(10月25日)



平成28年1月調印のエストニア共和国サク市との子ども交流に関する協力覚書に基づき、子ども交流研修生7名が佐久市議会を表敬訪問しました。小林議長がエストニアを訪問した時の話題で会話が弾み、子ども達もリラックスした様子で懇談しました。

友好都市の議長が表敬訪問(11月12日)



友好都市である大船渡市の熊谷議長、神津島村松本議長が、佐久市農業祭にあわせて来市され、佐久市議会をそれぞれ表敬訪問されました。

北佐久郡3町との合同議員研修会(11月17日)



佐久市・軽井沢町・御代田町・立科町議会合同議員研修会を佐久市内で開催しました。今回は、地方議会総合研究所の廣瀬和彦氏から「議員定数・議員報酬のあり方」についてご講演いただきました。

佐久穂町との合同議員研修会(11月18日)



佐久市・佐久穂町合同議員研修会が佐久穂町内で開催されました。今回は、佐久穂町議会の高見澤副議長からスリランカ訪問の報告と、長野県県民文化部の大月良則国際担当部長から「今、なぜ国際戦略が必要か」と題してご講演いただきました。

